

## 医療法人有働会 有働病院



熊本県荒尾市にある有働病院は昭和6年から続く精神科・神経科の病院。地域に根ざした病院として、地域の人々からも親しまれてきました。2017年春にの移転新築計画時に精神科医療のニーズ変化に対応し、「安心と安全を兼ね備えた最良の医療環境の提供」を目指して施設整備が進められました。

新病院構築プロジェクトについて、有働理事長をはじめ皆さんに伺いました。

理事長	有働 雄一郎 様	5階病棟看護師長	石坂 雄二 様
事務長	玉屋 宏進 様	4階病棟看護師長	田上 智子 様

## 現場を巻き込んでの新病院づくり

——移転新築にあたり、既存病院ではどのような課題を抱えていたのでしょうか。

**有働理事長** 近年、精神科医療は従来の入院中心の医療からの脱却が唱えられており、有働病院としても、常々変革を進めなければならないと感じていました。入院患者の平均年齢は68歳。高齢化に加え、身体の合併症や認知症を抱える人の増加も見込まれていますが、旧病院では患者ニーズの変化に対応することができませんでした。また、古い施設基準だったのでスタッフが気持ちよく働ける環境とはいえず、環境を整備することも急務でした。

そこで、「安心と安全を兼ね備えた最良の医療環境」をコンセプトに掲げ、精神科に対するネガティブイメージを払拭するような病院を目指しました。新病院のコンセプトは明文化し、スタッフ全員に配布して共有しました。目指す病院を実現するためには、現場のスタッフも病院づくりのプロセスに関わるべきだと考え、各部門からメンバーを募って建設委員会を設置し、現場の意見を汲み上げながら進めました。多彩なアイデアが生まれてくると同時に意見がぶつかり合うことが多く、纏め上げるには大変苦労しました。各部門ごとの問題点にばかり目が行かないように、本来目指す方向性から乖離していないか、都度丁寧に話し合いを進めていきました。時間はかかりましたが、妥協しない病院づくりができたと思います。



有働 雄一郎 理事長



### 患者視点

- 入院患者の生活環境の改善
- 対外的な精神科病院のネガティブイメージの払拭
- 多様化する精神科医療ニーズに対応できる病院づくり

安心と安全を  
兼ね備えた  
最良の医療環境

### 新病院のコンセプト



### スタッフ視点

- スタッフにとってより良い労働環境の整備